


MI_2307：センサーモジュール - 取り外しと取り付け

 iVario Pro 2-S P / L P / XL P

 30分

 標準 / 接点グリースCG60

 2023年04月03日

テーマ
この情報は、センサーモジュールの設置について説明しています。

対象となる製品/アクセサリ
iVario Pro 2-S P
iVario Pro L P
iVario Pro XL P

必要な工具
標準
接点グリースCG60

必要となるコンポーネント

	センサーモジュール左	センサーモジュール右
iVario Pro 2-S P	87.01.975S (05/2023まで) 87.01.989S (05/2023以降)	87.01.976S (05/2023まで) 87.01.990S (05/2023以降)
iVario Pro L P	87.01.975S (05/2023まで) 87.01.989S (05/2023以降)	-
iVario Pro XL P	87.01.975S (05/2023まで) 87.01.989S (05/2023以降)	-

一般情報

注記

コンポーネントの取り付けをサービスレベルに記入します（タブ「コンポーネントの交換」）。これはメンテナンス履歴の一部です。

- ターゲットグループ
- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
 - 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、規定のトレーニングを受けた技術者のみが実施できます。

- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

安全上の指示

危険

高圧電源に接続する場合

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

ご注意

機器本体ハウジングのバリ

電装部内の作業の際にカバー等にて指の怪我の恐れ
保護グローブを使用してください。

注記

地域および国ごとの安全・試験規定を遵守してください

RATIONALのユニットに関する全ての作業には、それぞれの地域、国別の安全および試験規定が適用されます。これらの規制は地域によって異なる場合があります、国ごとに異なるため、本書では個別に記載していません。

技術者は、これらの規則を遵守する責任があります。

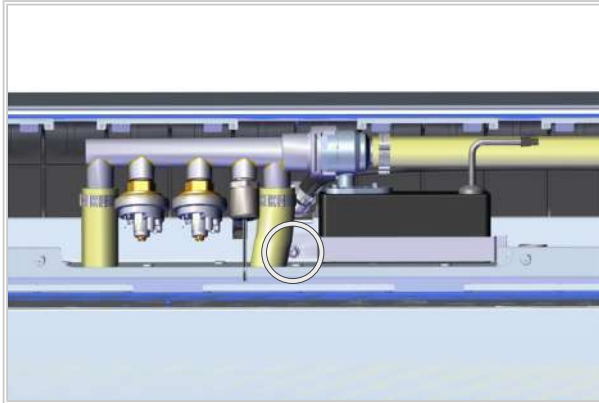
修正ログ

この説明書の前バージョンの変更事項：

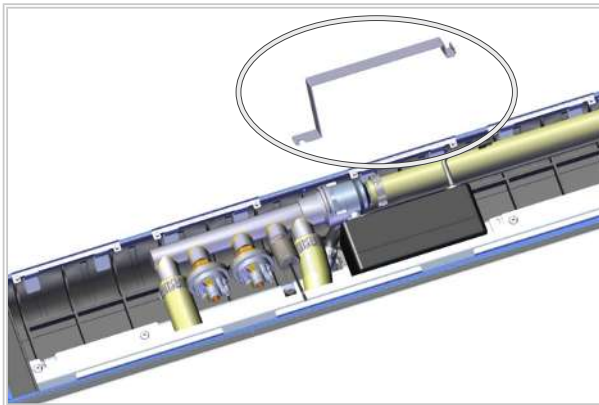
- 必要な道具：接点グリースCG60を追加。
- 行動手順に接点グリースを追加。
- 必要なコンポーネント：2023年05月以降の新しい番号を追加。
- 各種用語をサービスパーツカタログに合わせて調整。

作業手順

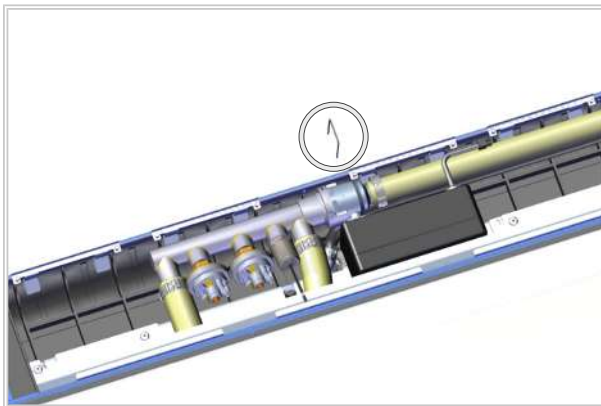
- ✓ ユニットが通電されていない状態になっています。
- ✓ カバーのメンテナンスフラップが取り外されています。
- 1. 圧力センサーと両方の圧力スイッチのプラグを外します。
- 2. 圧力制御弁のフランジ部分を固定しているねじを緩めます。



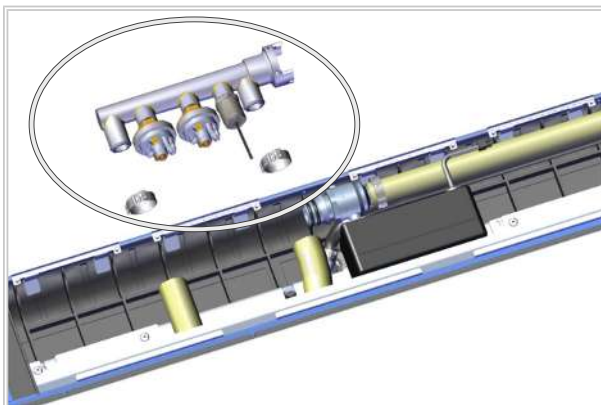
- 3. 圧力制御弁からフランジ部分を取り外します。



4. センサーモジュール固定用のクリップを取り外します。



5. ホースクランプを緩め、センサーモジュールを取り外します。



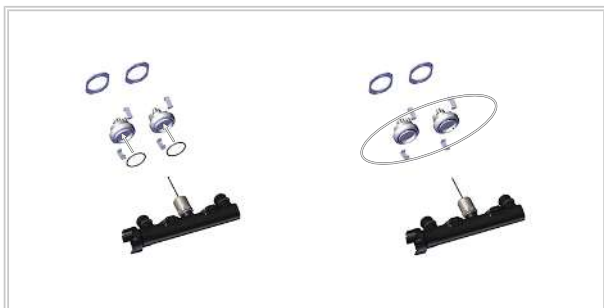
6. 新しいセンサーモジュールを前に取り付けます。
その際、古いセンサーモジュールの圧力センサー (1) のみ使用可能な
ことに注意してください。
7. 接地ケーブル (3) がある場合、圧力センサーから取り外します。
8. フラットガスケット (2) を再び取り付けます。



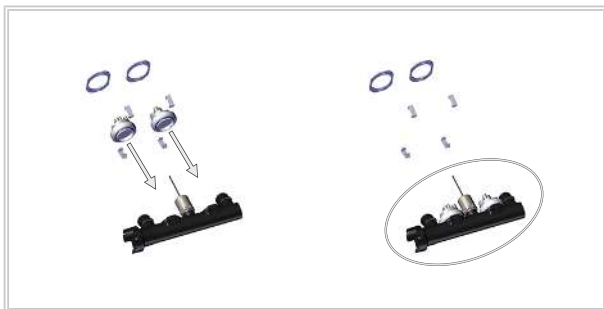
9. 圧力センサーをねじで固定します。



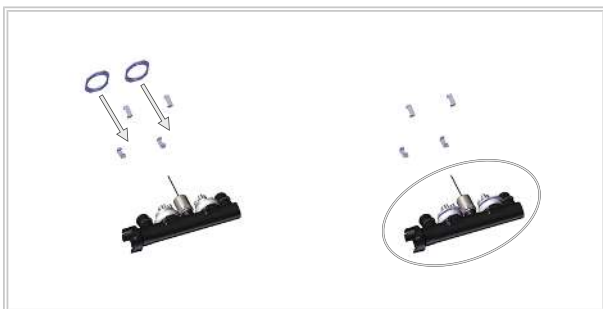
10. 新しい圧カスイッチ（20 mbarと350 mbar）に新しいシールを取り付けます。



11. 圧カスイッチをセンサーモジュールに取り付けます。



12. サポートプレートを押カスイッチに取り付けます。



13. 圧カスイッチをクリップで固定します。

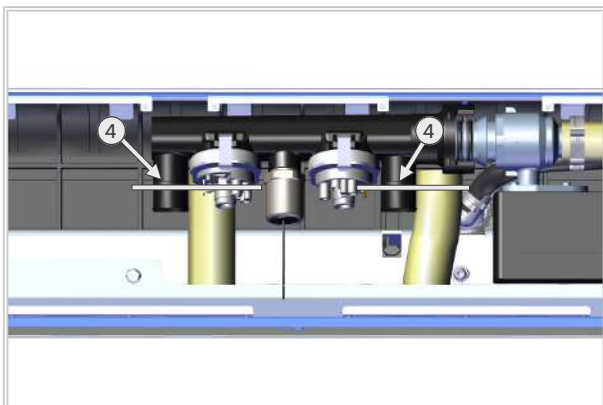


14. センサーモジュールがカバーの裏側に触れないように配置します。

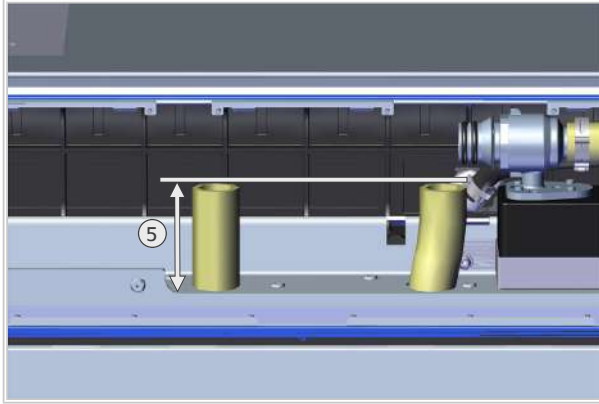
注！ 古いユニットの場合、ホース長さを調整する必要があります。切断前に、必要最小長さ65mmを必ず確認してください！

15. 可能であれば、図のようにホースをセンサーモジュールのホース接続部と平行に配置します。

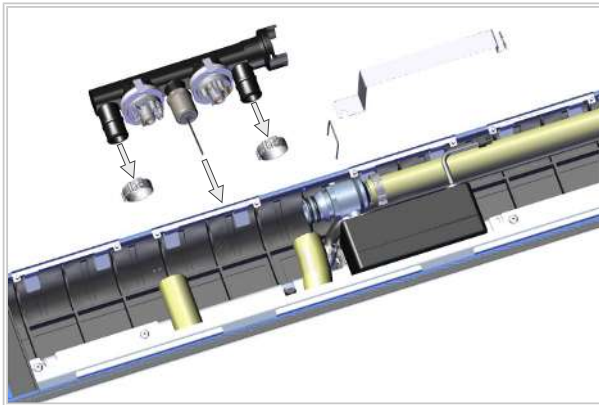
16. センサーモジュール (4) のストッパーと同じ位置にホースをマークします。



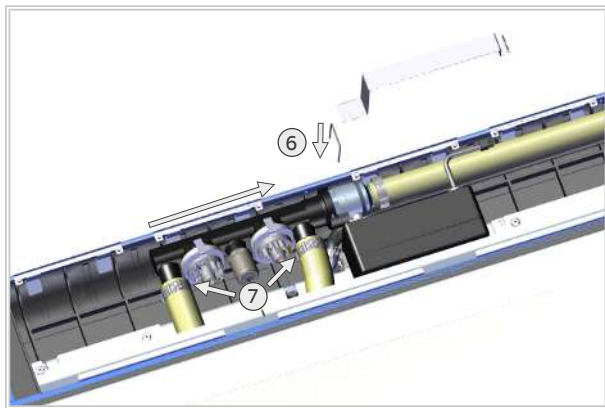
17. 必要な場合、ホースをセットされたマークで切断します。
少なくとも 65 mm (5) のホースが残っていなければなりません。



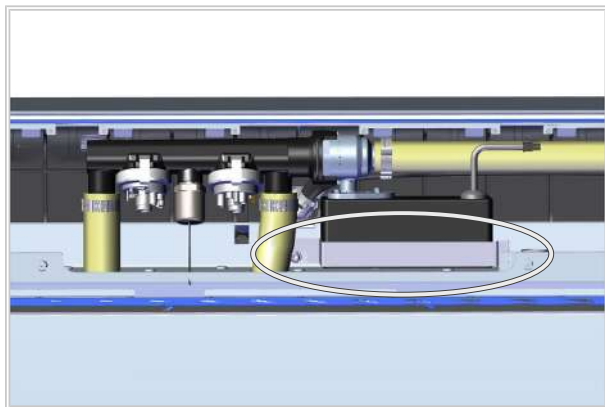
18. ホースにホースクランプを取り付けます。
19. センサーモジュールをホースに入るところまで押し込みます。



20. センサーモジュールを圧力制御弁に取り付けます。クランプ (6) でロックし、2つのホースクランプ (7) を締めます。



21. 圧力制御弁のフランジ部分を取り付けます。



22. 全ての電気接続部に接点グリースを塗布します。

注！ 全ての露出した接点部分が接点グリースで保護されていることを確認します。

23. 圧カスイッチと圧力センサーのプラグを再接続します。

24. 機能テストを実行します。

> センサーモジュールの取り付けが完了しました。

